



佐々木 僚平 議員

一問一答方式

その他の質問

- 原発汚染水について

問……………
小さな拠点づくりの意義と、早く立ち上げた土淵地区センターの教訓は。

答(市長)……………
新たな行政と地域の取り組みのために組織したもの。指定管理にしても、どの地域の中でも民間活力の活用を同時に進めなければと捉えている。また、土淵地区センターは、地区の牽引役で進んでいて、うまく機能している。

問……………
指定管理と業務委託に財源的な取り扱いの違いはあるのか。

答(市長)……………
各地区の特徴生かした取り組みをすすめ、情報共有することで、切磋琢磨して良い方向に行くと考えている。

問……………
人口減の中、どのような方向に導こうとしているのか。

答(市長)……………
違いはないと思っていい。使用できるお金は、推進事業補助金、ふるさとの事業補助金を活用していただく。さらに、地域が自由にチャレンジできるので財源は生み出せる。

「小さな拠点」とは

市長 少子高齢化の人口減少を迎え打つ準備をしようとするもの

問……………
国が地方のデジタル化を後押しするなかで、市の現状を踏まえたデジタル化の考えは。

答(市長)……………
将来的にデジタルになると思うが、全てがデジタルということではない。高齢化社会の

問……………
公民館のデジタル化の例を挙げる。人による鍵管理から、入り口の鍵をボタン式デジタルの暗証番号式にするこ

中で全てに当てはめるには強引のように思う。デジタル化できるところから徐々に進めていく。

市の現状を踏まえたデジタル化は。公民館のデジタル化など

市長 できるところから徐々に進めていく

答(市長)……………
比較的にすぐできることだと思う。医療に際してもいろいろな方法があると思う。遠隔医療の部分では、それに近いものは出来るようになってきている。

とで、有事の際に鍵が無くても開錠し避難することが出来る。また、診察サポートの例として、いつも診て頂いている医師が、市外に掛けて不在の時、コミニティナースがデジタル機器を活かして医師から遠隔診察を受けられるなどの検討もいがある。



佐々木 恵美子 議員

一問一答方式

高清水ソーラー建設について

市長 全容が見えない。開発に対し、しっかりした基準がないのが弱点



とびあ屋上より 高清水展望台を望む

問……………
高清水ソーラー建設の進捗状況は。

答(市長)……………
まだ何らかの形でアクションがないが、周辺下流に、土砂災害特別警戒指定区域が複数で、住居も多数あるので、この点はしっかりと見て指導しなければと考えている。防災や接続する水路等重要視しており、解決されな

問……………
地域住民に対し、進捗状況など説明可能か。

答(市長)……………
この案件に関して危険区域で、しかも景観地域においてこのような施設がふさわしいか問いたいと思いましたが、もし、住民の方々が事業者の説明を求めたいのであれば、呼び掛

多様な場面で期待できるトイレカーの提案

市長 非常時の備えや農作業でも農業組織で持てるようなシステムの検討が必要



4つの個室トイレを持つ牽引タイプ



軽トラック自走タイプ

問……………
過去に、トイレの設置に関する議論があった。その内容は、有事や非常時のトイレトレーラーの備え、スポーツ大会開催等の早瀬河川ブランド、新たな観光誘客に向けて高清水展望台、荒川高原等へのトイレ設置の考えを

答(市長)……………
非常時には、リーストイレも無くなった前例もあり、女性は特に大変だったと思う。備えとして重要なことのひとつではないか。農作業などいろいろな事を考えると、農業組織で持てるようなシステムも必要となるのではないか。

問……………
問うものだった。基本設計、費用や環境面の影響調査など、実現まで時間を要すと想像する。そこでトイレカーの検討はいかがか。汚物タンクを備え、環境を汚染するものではない。時間とコストを抑え、多様な場面での期待できると思う。

